

学習指導要領	足立新田高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。また、文脈をとらえ、要旨を読み取り要約することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワードを指摘することができる。 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 ・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩(ゆ)などの表現技法を指摘することができる。 ・具体例と意見を区別しながら、書き手の考えの強調点をとらえることができる。 ・筆者の主張を中心に要約することができる。
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>登場人物を押さえ、行動や性格、情景などから心情の変化をとらえることができる。また、作者ならではの表現を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>中島 敦『山月記』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各場面での登場人物の言動や心情を読み取ることができる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえることができる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩(ゆ)などの表現技法を指摘することができる。

学習指導要領	足立新田高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、批評をすることで、自分の考えを深めたり、社会に目を向けたり、さらに自分の考えを発展させることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な形態（文学的な文章・論理的な文章・実用的な文章など）や、幅広い内容・分野（芸術・社会学・自然科学など）の本や文章を読むことができる。 ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。 ・読んだ文章から深めた考えをもとに、様々な社会現象に目を向け、考えを発展させることができる。 <p>誰に向かって何のために書くのかを考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。また、論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えをその根拠と結び付けて相手や目的を意識した表現で文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた話題について、自分なりに相手や目的に応じた材料を収集し、調べた内容を参考に自分の考えを持つことができる ・常体と敬体を区別し、語句の重複など表記について注意することができる。 ・結論と本論を一致させた800字程度の文章を書くことができる。 ・自分の論拠に合った事例や引用、具体例を使うことができる。

学習指導要領	足立新田高校 学カスタンダード
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情景や人物、心情などを、読み手が理解しやすいように描写することができる。 語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについてを知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。また、文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについての的確に理解し、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解する。 ・和語、漢語、外来語の区別ができ、効果の違いを知る。 ・言語の主要な機能（認識、伝達、思考、想像など）を理解する。 ・標準な文について、文の成分（主語、述語、修飾語など）を理解することができる。 ・標準な文章の段落構成（序論・本論・結論、起承転結など）を理解する。 ・標準な文章について、語句の意味・用法を理解する。